

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37303	健康の医学 Disease theory	木村 典子	専門	2	選択	1・2年 後期
科目の概要						
日々の生活と人体の構造と機能と関連付けて学び、次に、疾患とその治療について学んでいきます。自分の健康を保持していくためには、いろいろな疾患を理解したうえで生活習慣を見直していく必要となります。本講義はそのために必要な医学の基礎的知識を分かりやすく解説していきます。						
学修内容			到達目標			
① 生活様式と人体の構造と機能を学ぶ。			① 人体の構造と機能を生活様式との関連で、疾患の特徴を述べられる。			
② 種々の病気について理解して、生活習慣病にならない為の方法を学んでいきます。			② 種々の病気について理解して、生活習慣病にならない為には何が必要かを理解する。			
③ 検査、薬の基礎について学習する。			③ 検査の種類、薬の作用・種類について述べることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	必要な知識についてさらに深めた理解するために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。				
	働きかけ力					
	実行力	目標を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。				
考え抜く力	課題発見力	主観的情報、客観的情報を連動させて、課題を考えることができる。				
	計画力					
	創造力	課題を考えるとき、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、欠席した場合の分の補充ができるよう、クラスのメンバーなど聞き、行うことができる				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:なし 資格との関連:秘書士(メディカル秘書)						
学習上の助言			受講生とのルール			
日常生活の中で病気について関心をもつ。 講義の内容はその日のうちにノートにまとめ記憶する。			主体的に学習計画を立てて行っていく必要があります。覚える知識も膨大な量があるので、日々の積み重ねが大切になります。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント	
筆記試験	50	①	✓	・人体の構造・機能、疾患を適切に理解しているかを評価する。 ポイント:生活様式と人体の機能 疾患の特徴 ・授業で学習した内容の理解度を確認する。
		②	✓	
		③	✓	
小テスト	20	①	✓	・毎回の小テストの点数を平均して判定する。 ①授業内容を理解できているか確認する。 ②穴埋め問題と簡単な分析を中心に出題する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。
		②	✓	
		③	✓	
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	10	①		授業の冒頭で、理解度を確保するために発表を行う。 ・2分間の発表、ランダムに発表者を指定する。 ・注目すべき理由、表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。
		②		
		③		
作品				
社会人基礎力 (授業態度)	10	①		(主体性) ・必要な知識についてさらに深めた理解するために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。 (実行力) ・目標を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。 (課題発見力) ・主観的情報、客観的情報を連動させて、課題を考えることができる。 (創造力) 課題を考えると、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。 (発信力) グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる (傾聴力) ・グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。 (規律性) ・無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、欠席した場合の分の補充ができるよう、クラスのメンバーなど聞き、行うことができる
		②		
		③		
その他	10	①		・聴講ノート、提出(4点×5回=20点) ・受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力など)が見られる場合は減点する。 ・6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。
		②		
		③		
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
人体の構造と機能、疾患の特徴を関連付けて説明することができる。また、上記の内容について、わかりやすく、資料を作成して、発表することができる。課題を丁寧にまとめ、自ら。知りえた知識も加えている。と秀に値する。 聴講ノートが系統づけてまとめている。	人体の構造と機能、疾患の特徴説明することができる。また、上記の内容について、資料を作成して、発表することができる。聴講ノートがまとめている。

回数	学習・教育内容	授業の実施方法	達成レベルCの目安	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	人体の構造(細胞・組織・臓器)について学ぶ	小テスト 講義	人体の成り立ちがわかり、臓器の場所、名称が述べられる。	(予習)免疫機能を調べる。	180	発信力
2週 /	免疫機能について学ぶ。 ・予防接種と感染症	小テスト 発表 講義	免疫機能について述べることができる。	(予習)インフルエンザを調べる。	180	発信力
3週 /	こどもに多い感染症 風疹・はしか・おたふくかぜ リンゴ病・百日咳・プール熱	小テスト 発表 講義	こどもに多い感染症の特徴を述べるができる。	(予習)花粉症、アレルギー反応を調べる	180	発信力
4週 /	アレルギー疾患について学ぶ。(蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、アナフィラキシーショック)	小テスト 発表 講義	アレルギー疾患の特徴について述べるができる。	(復習)学んだ疾患について、ノートにまとめる。	180	発信力
5週 /	食事と消化器の関係について学ぶ。	小テスト 発表 講義	食事に関する食道・胃・小腸・大腸の役割を述べるができる。	(復習)消化器の解剖生理をまとめる。	180	発信力
6週 /	逆流性食道炎、胃がん、胃潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病、便秘症について学ぶ。	小テスト 発表 講義	消化器疾患の特徴について述べるができる。	(復習)学んだ疾患について、ノートにまとめる。	180	発信力
7週 /	肝臓・膵臓・胆のうの機能と、その臓器に多い疾患を学ぶ。肝炎、膵炎、膵臓癌、胆石	小テスト 発表 講義	肝臓・膵臓・胆のうの機能と結びつけて疾患を列挙できる。	(復習)学んだ疾患について、ノートにまとめる。	180	発信力
8週 /	血液検査・尿検査データよりわかることについて学ぶ。	小テスト 発表 講義	検査の種類について列挙することができる。	(復習)検査の種類をまとめる。	180	発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

回数	学習・教育内容	授業の実施方法	達成レベルCの目安	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	食事と血糖の変化を学び、生活習慣病の一つである糖尿病について学ぶ。	小テスト 発表 講義	血糖の変化と、糖尿病の関係を述べることができる。	(復習)事例の患者の適切な食事の仕方をまとめる。	180	発信力
10週 /	薬の形状、摂取方法(経口、経管) 薬の効果と副作用、中毒について学ぶ	小テスト 発表 講義	薬の作用、副作用について述べるができる。	(復習)薬の種類についてまとめる。	180	発信力
11週 /	骨の成り立ちと骨そしょう症、骨折について学ぶ。	小テスト 発表 講義	骨折時の対処方法が述べるができる。	(復習)事例患者の骨折時の応急処置をまとめる。	180	発信力
12週 /	大脳と人間らしさについて学ぶ。脳と全身の関係 植物状態(遷延性意識障害)と脳死、認知症	小テスト 発表 講義	脳と全身の関係について述べるができる。	(復習)麻布脳神経外科の取り組みについてレポートする。	180	発信力
13週 /	脳血管障害について学ぶ 高齢者に多い病気を学ぶ。	小テスト 発表 講義	脳血管障害の特徴を説明できる。	(復習)高齢者に多い病気の特徴をまとめる。	180	発信力
14週 /	循環器の構造と機能、心筋梗塞、不整脈、高血圧について学ぶ	小テスト 発表 講義	心臓の働きと結びつけて、疾患の特徴を説明できる。	(復習)学んだ疾患について、ノートにまとめる。	180	発信力
15週 /	腎臓の機能と排尿のメカニズムを学ぶ。タンパク尿、透析、ネフローゼ症候群	小テスト 発表 講義	腎臓の働きと結びつけて、疾患の特徴を説明できる。	(復習)学んだ疾患について、ノートにまとめる。	180	発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力